



2021年3月期 決算短信(日本基準)(連結)

2021年5月11日

上場会社名 株式会社 大水

上場取引所 東

コード番号 7538 URL <http://www.daisui.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 山橋 英一郎

問合せ先責任者 (役職名) 総務広報部長 (氏名) 山本 敬史

TEL 06-6131-5190

定時株主総会開催予定日 2021年6月24日

配当支払開始予定日

2021年6月7日

有価証券報告書提出予定日 2021年6月24日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期の連結業績(2020年4月1日～2021年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | |
|----------|---------|-----|------|------|------|------|-----------------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2021年3月期 | 114,239 | 8.7 | 81 | | 46 | 88.3 | 653 | 288.5 |
| 2020年3月期 | 125,056 | 2.8 | 272 | 13.1 | 394 | 2.7 | 168 | 58.7 |

(注) 包括利益 2021年3月期 1,029百万円 (%) 2020年3月期 93百万円 (%)

| | 1株当たり当期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり 当期純利益 | 自己資本当期純利 益率 | 総資産経常利益率 | 売上高営業利益率 |
|----------|------------|-----------------------|----------------|----------|----------|
| | 円 銭 | 円 銭 | % | % | % |
| 2021年3月期 | 47.73 | | 9.0 | 0.2 | 0.1 |
| 2020年3月期 | 12.25 | | 2.4 | 1.9 | 0.2 |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|----------|--------|-------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 2021年3月期 | 20,165 | 7,673 | 38.1 | 580.12 |
| 2020年3月期 | 19,963 | 6,831 | 34.2 | 497.77 |

(参考) 自己資本 2021年3月期 7,673百万円 2020年3月期 6,831百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

| | 営業活動によるキャッシュ・フロー | 投資活動によるキャッシュ・フロー | 財務活動によるキャッシュ・フロー | 現金及び現金同等物期末残高 |
|----------|------------------|------------------|------------------|---------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 |
| 2021年3月期 | 285 | 338 | 194 | 3,375 |
| 2020年3月期 | 270 | 351 | 90 | 2,945 |

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | | 配当金総額 (合計) | 配当性向 (連結) | 純資産配当 率(連結) |
|--------------|--------|--------|--------|------|------|---------------|--------------|----------------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 | | | |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 百万円 | % | % |
| 2020年3月期 | | 0.00 | | 5.00 | 5.00 | 68 | 40.8 | 1.0 |
| 2021年3月期 | | 0.00 | | 5.00 | 5.00 | 66 | 10.5 | 0.9 |
| 2022年3月期(予想) | | 0.00 | | 5.00 | 5.00 | | 30.1 | |

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 当期純利益 | | 1株当たり当期 純利益 |
|----|---------|-----|------|---|------|-------|---------------------|------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 120,000 | 5.0 | 200 | | 300 | 550.9 | 250 | 61.7 | 18.90 |

(注) 2022年3月期の期首より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等を適用いたしますが、上記の連結業績予想は2021年3月期に適用した会計基準等に基づく金額となっております。

注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

なお、特定子会社の異動には該当しておりませんが、株式会社別府魚市の全株式を取得したことにより、第1四半期連結会計期間の期首より同社を連結の範囲に含めております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 以外の会計方針の変更 : 無
 会計上の見積りの変更 : 無
 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|-------------------|----------|--------------|----------|--------------|
| 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 2021年3月期 | 13,774,819 株 | 2020年3月期 | 13,774,819 株 |
| 期末自己株式数 | 2021年3月期 | 547,029 株 | 2020年3月期 | 49,931 株 |
| 期中平均株式数 | 2021年3月期 | 13,682,655 株 | 2020年3月期 | 13,724,891 株 |

(参考)個別業績の概要

2021年3月期の個別業績(2020年4月1日～2021年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | |
|----------|---------|-----|------|------|------|------|-------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2021年3月期 | 102,094 | 9.4 | 111 | | 17 | 94.2 | 644 | 388.8 |
| 2020年3月期 | 112,732 | 2.9 | 140 | 44.6 | 303 | 8.1 | 131 | 61.4 |

| | 1株当たり当期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり当期純利益 |
|----------|------------|-------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2021年3月期 | 47.08 | |
| 2020年3月期 | 9.60 | |

(2) 個別財政状態

| | 総資産 | | 純資産 | | 自己資本比率 | | 1株当たり純資産 | |
|----------|--------|--|-------|--|--------|--|----------|--|
| | 百万円 | | 百万円 | | % | | 円 銭 | |
| 2021年3月期 | 18,092 | | 6,793 | | 37.5 | | 513.57 | |
| 2020年3月期 | 17,935 | | 6,060 | | 33.8 | | 441.59 | |

(参考) 自己資本 2021年3月期 6,793百万円 2020年3月期 6,060百万円

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1.経営成績等の概況(4)今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|----|
| 1. 経営成績等の概況 | 2 |
| (1) 当期の経営成績の概況 | 2 |
| (2) 当期の財政状態の概況 | 2 |
| (3) 当期のキャッシュ・フローの概況 | 3 |
| (4) 今後の見通し | 3 |
| 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 | 4 |
| 3. 連結財務諸表及び主な注記 | 5 |
| (1) 連結貸借対照表 | 5 |
| (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 | 7 |
| 連結損益計算書 | 7 |
| 連結包括利益計算書 | 8 |
| (3) 連結株主資本等変動計算書 | 9 |
| (4) 連結キャッシュ・フロー計算書 | 11 |
| (5) 連結財務諸表に関する注記事項 | 12 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 12 |
| (セグメント情報等) | 12 |
| (1株当たり情報) | 15 |
| (重要な後発事象) | 15 |
| (追加情報) | 15 |

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響で経済活動が停滞したことにより、個人消費や企業収益が大きく落ち込みました。本年3月以降、感染力の強い変異株の影響等により感染再拡大の傾向にあるなど収束の見通しが立っておらず、先行きは不透明な状況にあります。

当水産流通業界におきましては、度重なる飲食店等への休業・時短要請により外食需要が大きく落ち込み、外食向け商材を中心に荷動きが鈍化しました。一方で、感染予防のため外出を控える生活様式が浸透したこともあり内食需要は好調に推移しましたが、その効果は限定的で、業界全体としては厳しい経営環境となりました。

このような状況のもと、当社グループでは、安全・安心な水産物を安定供給するという社会的使命を果たすべく、産地出荷者とのネットワークの強化や海外との取引強化等に努めてまいりました。

当連結会計年度の経営成績は、売上高は1,142億39百万円（前期比8.7%減）となりました。損益面では、貸倒引当金繰入額2億29百万円（当社の販売先の財政状態および経営成績を勘案し、同社への営業債権に対する個別引当金1億73百万円、および当該処理により貸倒実績率が上昇したことに伴う一般債権に対する引当金55百万円）が発生した結果、営業損失は81百万円（前期は2億72百万円の営業利益）、経常利益は46百万円（前期比88.3%減）、投資有価証券売却益6億16百万円を計上した結果、親会社株主に帰属する当期純利益は6億53百万円（前期比288.5%増）となりました。

セグメントの経営成績は次のとおりであります。

（水産物販売事業）

水産物販売事業は、当連結会計期間をとおして新型コロナウイルス感染症の影響により大変厳しい経営環境となりました。2020年4月7日に発出された1回目の緊急事態宣言により様々な経済活動が自粛を余儀なくされ、旅行・外食などの機会が大幅に減少しました。2020年5月25日の宣言解除後には政府による景気刺激策などにより回復傾向がみられましたが、飲食業などでは「新しい生活様式」への対応を求められるなど引き続き一定の制約が設けられ、従来水準までの回復には至りませんでした。2021年1月13日には再び緊急事態宣言が発せられ、解除後も時短要請が継続されるなど、年末年始や期末の宴会需要が大きな影響を受け、養殖マダイや高価格帯の天然鮮魚などの商材は販売が伸び悩みました。

一方で、量販店への販売は外食需要減の反動による内食へのシフトに伴い順調な販売となりました。上期には主力商材として期待したサンマ等の青魚が不漁などの影響もありましたが、第3四半期には年末商材のカニなどを中心に好調に推移しました。しかしながら、外食需要の低下をカバーするには至らず、売上高は1,140億55百万円（前期比8.7%減）となり、セグメント利益は86百万円（前期比81.0%減）となりました。

（冷蔵倉庫等事業）

冷蔵倉庫等事業は、売上高が2億38百万円（前期比2.4%減）となり、セグメント利益は3百万円（前期比48.3%減）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

（資産）

当連結会計年度末における流動資産は145億59百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億28百万円減少しました。これは主に現金及び預金が6億29百万円増加した一方で、受取手形及び売掛金が2億7百万円、商品及び製品が6億69百万円減少したこと等によるものであります。固定資産は56億5百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億30百万円増加しました。これは主に投資有価証券が4億3百万円増加したこと等によるものであります。

この結果、総資産は201億65百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億1百万円増加しました。

（負債）

当連結会計年度末における流動負債は93億29百万円となり、前連結会計年度末に比べ45百万円減少しました。これは主に1年以内償還予定社債が5億円増加した一方で、支払手形及び買掛金が6億円減少したこと等によるものであります。固定負債は31億62百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億94百万円減少しました。これは主に社債が5億円減少したこと等によるものであります。

この結果、負債合計は124億91百万円となり、前連結会計年度末に比べ6億40百万円減少しました。

（純資産）

当連結会計年度末における純資産合計は76億73百万円となり、前連結会計年度末に比べ8億41百万円増加しました。これは主に親会社株主に帰属する当期純利益を6億53百万円計上したこと等により利益剰余金が5億84百万円、その他有価証券評価差額金が2億96百万円増加した一方で、自己株式の取得により自己株式が1億19百万円増加（純資産合計に対しては減少）したこと等によるものであります。

この結果、自己資本比率は38.1%（前連結会計年度末は34.2%）となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、33億75百万円（前連結会計年度末比4億29百万円増）となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は2億85百万円（前連結会計年度は2億70百万円の支出）となりました。これは主に、売上債権が4億31百万円、たな卸資産が6億76百万円、負債の部で仕入債務が7億15百万円減少したこと等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果得られた資金は3億38百万円（前連結会計年度は3億51百万円の支出）となりました。これは主に定期預金の預け入れに2億円支出した一方で、投資有価証券の売却により6億38百万円獲得したこと等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果支出した資金は1億94百万円（前連結会計年度は90百万円の支出）となりました。これは主に自己株式の取得により1億19百万円、配当金の支払いにより68百万円支出したこと等によるものであります。

（参考）キャッシュ・フロー関連指標の推移

| | 2017年3月期 | 2018年3月期 | 2019年3月期 | 2020年3月期 | 2021年3月期 |
|----------------------|----------|----------|----------|----------|----------|
| 自己資本比率（%） | 31.2 | 31.4 | 32.1 | 34.2 | 38.1 |
| 時価ベースの自己資本比率（%） | 16.2 | 17.5 | 15.0 | 14.4 | 16.3 |
| キャッシュ・フロー対有利子負債比率（年） | 5.5 | 5.8 | 2.3 | — | 9.4 |
| インタレスト・カバレッジ・レシオ（倍） | 22.5 | 21.2 | 50.3 | — | 14.9 |

（注）自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー／利払い

※各指標はいずれも連結ベースの財務数値により算出しております。

※株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式数（自己株式控除後）により算出しております。

※営業キャッシュ・フローは、連結キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを使用しております。有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。また、利払いについては、連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

※2020年3月期のキャッシュ・フロー対有利子負債比率及びインタレスト・カバレッジ・レシオについては、営業キャッシュ・フローがマイナスのため記載しておりません。

(4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染症の影響の収束時期の予測が困難な状況にありますが、翌連結会計年度（2022年3月期）の業績見通しについて、売上高1,200億円、営業利益2億円、経常利益3億円、親会社株主に帰属する当期純利益2億50百万円を予想しております。

なお、2022年3月期の期首より「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号）等を適用いたしますが、上記の連結業績予想は2021年3月期に適用した会計基準に基づく金額となっております。

また、セグメント別の見通しにつきましては、当社グループの報告セグメントにおける水産物販売事業の比率が高いため、記載を省略しております。

（注）上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループの利害関係者の多くは国内の株主、債権者、取引先等であり、かつ、海外からの資金調達の必要性が乏しいため、日本基準を適用しております。

今後は国内他社の国際会計基準の採用状況等を勘案し、対応してまいります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2020年3月31日) | 当連結会計年度 (2021年3月31日) |
|----------------|-------------------------|-------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 2,945 | 3,575 |
| 受取手形及び売掛金 | 7,698 | 7,491 |
| 商品及び製品 | 3,545 | 2,875 |
| 短期貸付金 | 300 | 300 |
| 未収消費税等 | 141 | 142 |
| その他 | 171 | 242 |
| 貸倒引当金 | △15 | △67 |
| 流動資産合計 | 14,788 | 14,559 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物 | 2,441 | 2,446 |
| 減価償却累計額 | △1,588 | △1,641 |
| 建物及び構築物 (純額) | 853 | 805 |
| 機械装置及び運搬具 | 242 | 289 |
| 減価償却累計額 | △174 | △195 |
| 機械装置及び運搬具 (純額) | 67 | 93 |
| 工具、器具及び備品 | 314 | 343 |
| 減価償却累計額 | △202 | △265 |
| 工具、器具及び備品 (純額) | 112 | 77 |
| 土地 | 1,723 | 1,723 |
| リース資産 | 38 | 34 |
| 減価償却累計額 | △16 | △18 |
| リース資産 (純額) | 22 | 15 |
| その他 | — | 1 |
| 有形固定資産合計 | 2,778 | 2,717 |
| 無形固定資産 | | |
| ソフトウェア | 50 | 38 |
| 電話加入権 | 9 | 9 |
| その他 | 14 | 28 |
| 無形固定資産合計 | 74 | 77 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 2,054 | 2,457 |
| 長期貸付金 | 365 | 391 |
| 破産更生債権等 | 655 | 241 |
| 固定化営業債権 | 800 | 1,047 |
| 繰延税金資産 | 21 | 4 |
| その他 | 135 | 120 |
| 貸倒引当金 | △1,711 | △1,452 |
| 投資その他の資産合計 | 2,322 | 2,810 |
| 固定資産合計 | 5,175 | 5,605 |
| 資産合計 | 19,963 | 20,165 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2020年3月31日) | 当連結会計年度 (2021年3月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 6,728 | 6,128 |
| 短期借入金 | 1,450 | 1,450 |
| 1年内償還予定の社債 | — | 500 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 250 | 250 |
| 未払金 | 392 | 448 |
| 未払法人税等 | 104 | 63 |
| 賞与引当金 | 151 | 146 |
| その他 | 297 | 342 |
| 流動負債合計 | 9,375 | 9,329 |
| 固定負債 | | |
| 社債 | 500 | — |
| 長期借入金 | 500 | 500 |
| 繰延税金負債 | 269 | 321 |
| 再評価に係る繰延税金負債 | 251 | 251 |
| 役員退職慰労引当金 | 230 | 131 |
| 退職給付に係る負債 | 1,630 | 1,567 |
| その他 | 374 | 389 |
| 固定負債合計 | 3,756 | 3,162 |
| 負債合計 | 13,131 | 12,491 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 2,352 | 2,352 |
| 資本剰余金 | 497 | 497 |
| 利益剰余金 | 3,145 | 3,729 |
| 自己株式 | △19 | △138 |
| 株主資本合計 | 5,975 | 6,440 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 665 | 962 |
| 繰延ヘッジ損益 | 7 | △9 |
| 土地再評価差額金 | 217 | 217 |
| 退職給付に係る調整累計額 | △34 | 63 |
| その他の包括利益累計額合計 | 856 | 1,233 |
| 純資産合計 | 6,831 | 7,673 |
| 負債純資産合計 | 19,963 | 20,165 |

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日) | 当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日) |
|-----------------|--|--|
| 売上高 | 125,056 | 114,239 |
| 売上原価 | 118,064 | 107,443 |
| 売上総利益 | 6,992 | 6,796 |
| 販売費及び一般管理費 | 6,719 | 6,877 |
| 営業利益又は営業損失(△) | 272 | △81 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 7 | 7 |
| 受取配当金 | 80 | 59 |
| 受取賃貸料 | 141 | 160 |
| 貸倒引当金戻入額 | 17 | — |
| その他 | 16 | 26 |
| 営業外収益合計 | 262 | 253 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 21 | 19 |
| 賃貸費用 | 81 | 93 |
| 為替差損 | 27 | — |
| その他 | 11 | 13 |
| 営業外費用合計 | 141 | 126 |
| 経常利益 | 394 | 46 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | — | 1 |
| 投資有価証券売却益 | — | 616 |
| 特別利益合計 | — | 617 |
| 特別損失 | | |
| 減損損失 | 7 | 7 |
| 特別損失合計 | 7 | 7 |
| 税金等調整前当期純利益 | 387 | 655 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 107 | 71 |
| 法人税等調整額 | 111 | △68 |
| 法人税等合計 | 218 | 2 |
| 当期純利益 | 168 | 653 |
| 非支配株主に帰属する当期純利益 | — | — |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | 168 | 653 |

(連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日) | 当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日) |
|--------------|--|--|
| 当期純利益 | 168 | 653 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △213 | 296 |
| 繰延ヘッジ損益 | 3 | △17 |
| 退職給付に係る調整額 | △51 | 97 |
| その他の包括利益合計 | △261 | 376 |
| 包括利益 | △93 | 1,029 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る包括利益 | △93 | 1,029 |
| 非支配株主に係る包括利益 | — | — |

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:百万円)

| | 株主資本 | | | | |
|---------------------|-------|-------|-------|------|--------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | 利益剰余金 | 自己株式 | 株主資本合計 |
| 当期首残高 | 2,352 | 497 | 3,059 | △19 | 5,889 |
| 当期変動額 | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | △82 | | △82 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | | | 168 | | 168 |
| 自己株式の取得 | | | | △0 | △0 |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | | | | | |
| 当期変動額合計 | — | — | 85 | △0 | 85 |
| 当期末残高 | 2,352 | 497 | 3,145 | △19 | 5,975 |

| | その他の包括利益累計額 | | | | | 純資産合計 |
|---------------------|--------------|---------|----------|--------------|---------------|-------|
| | その他有価証券評価差額金 | 繰延ヘッジ損益 | 土地再評価差額金 | 退職給付に係る調整累計額 | その他の包括利益累計額合計 | |
| 当期首残高 | 878 | 4 | 217 | 17 | 1,118 | 7,007 |
| 当期変動額 | | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | | | | △82 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | | | | | | 168 |
| 自己株式の取得 | | | | | | △0 |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | △213 | 3 | — | △51 | △261 | △261 |
| 当期変動額合計 | △213 | 3 | — | △51 | △261 | △175 |
| 当期末残高 | 665 | 7 | 217 | △34 | 856 | 6,831 |

当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位: 百万円)

| | 株主資本 | | | | |
|----------------------|-------|-------|-------|------|--------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | 利益剰余金 | 自己株式 | 株主資本合計 |
| 当期首残高 | 2,352 | 497 | 3,145 | △19 | 5,975 |
| 当期変動額 | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | △68 | | △68 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | | | 653 | | 653 |
| 自己株式の取得 | | | | △119 | △119 |
| 株主資本以外の項目の当期変動額 (純額) | | | | | |
| 当期変動額合計 | — | — | 584 | △119 | 465 |
| 当期末残高 | 2,352 | 497 | 3,729 | △138 | 6,440 |

| | その他の包括利益累計額 | | | | | 純資産合計 |
|----------------------|--------------|---------|----------|--------------|---------------|-------|
| | その他有価証券評価差額金 | 繰延ヘッジ損益 | 土地再評価差額金 | 退職給付に係る調整累計額 | その他の包括利益累計額合計 | |
| 当期首残高 | 665 | 7 | 217 | △34 | 856 | 6,831 |
| 当期変動額 | | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | | | | △68 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | | | | | | 653 |
| 自己株式の取得 | | | | | | △119 |
| 株主資本以外の項目の当期変動額 (純額) | 296 | △17 | — | 97 | 376 | 376 |
| 当期変動額合計 | 296 | △17 | — | 97 | 376 | 841 |
| 当期末残高 | 962 | △9 | 217 | 63 | 1,233 | 7,673 |

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日) | 当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日) |
|--------------------------|--|--|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前当期純利益 | 387 | 655 |
| 減価償却費 | 149 | 136 |
| のれん償却額 | — | 3 |
| 賞与引当金の増減額 (△は減少) | 0 | △6 |
| 役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少) | 31 | △98 |
| 貸倒引当金の増減額 (△は減少) | △23 | △209 |
| 退職給付に係る負債の増減額 (△は減少) | 16 | 54 |
| 受取利息及び受取配当金 | △87 | △66 |
| 支払利息 | 21 | 19 |
| 投資有価証券売却損益 (△は益) | — | △616 |
| 有形固定資産売却損益 (△は益) | — | △1 |
| 減損損失 | 7 | 7 |
| 売上債権の増減額 (△は増加) | 1,711 | 431 |
| たな卸資産の増減額 (△は増加) | △533 | 676 |
| その他営業債権の増減額 (△は増加) | △42 | △13 |
| 仕入債務の増減額 (△は減少) | △1,778 | △715 |
| その他営業債務の増減額 (△は減少) | △67 | 88 |
| 未収消費税等の増減額 (△は増加) | △67 | △0 |
| 未払消費税等の増減額 (△は減少) | 1 | △5 |
| その他 | △19 | △3 |
| 小計 | △293 | 336 |
| 利息及び配当金の受取額 | 89 | 82 |
| 利息の支払額 | △21 | △19 |
| 法人税等の支払額又は還付額 (△は支払) | △44 | △114 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | △270 | 285 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 定期預金の預入による支出 | — | △200 |
| 投資有価証券の取得による支出 | △8 | △7 |
| 投資有価証券の売却による収入 | 3 | 638 |
| 連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出 | — | △7 |
| 有形固定資産の取得による支出 | △220 | △59 |
| 有形固定資産の売却による収入 | — | 1 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △42 | △4 |
| 固定資産の除却による支出 | △1 | — |
| 貸付けによる支出 | △155 | △123 |
| 貸付金の回収による収入 | 75 | 97 |
| その他投資の取得による支出 | △1 | △0 |
| その他投資の回収による収入 | 0 | 3 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △351 | 338 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額 (△は減少) | △84 | — |
| 長期借入れによる収入 | 250 | 250 |
| 長期借入金の返済による支出 | △166 | △250 |
| 自己株式の取得による支出 | △0 | △119 |
| 配当金の支払額 | △81 | △68 |
| リース債務の返済による支出 | △8 | △7 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △90 | △194 |
| 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少) | △711 | 429 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 3,657 | 2,945 |
| 現金及び現金同等物の期末残高 | 2,945 | 3,375 |

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は京阪神の中央卸売市場を拠点として水産品の集荷販売を行い、補完的位置付けとして同一事業を行う子会社4社とともに「水産物販売事業」を展開しており、当該事業の物流の一翼を担う位置付けで冷蔵倉庫を運営する子会社1社が「冷蔵倉庫等事業」に従事しております。当社はこの2つを報告セグメントとしております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位：百万円)

| | 報告セグメント | | | 調整額 (注) 1 | 連結財務諸表計上額 (注) 2 |
|-------------------|---------|---------|---------|-----------|-----------------|
| | 水産物販売事業 | 冷蔵倉庫等事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 124,870 | 186 | 125,056 | — | 125,056 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | — | 57 | 57 | △57 | — |
| 計 | 124,870 | 243 | 125,114 | △57 | 125,056 |
| セグメント利益 | 454 | 6 | 460 | △188 | 272 |
| セグメント資産 | 19,990 | 296 | 20,287 | △323 | 19,963 |
| その他の項目 | | | | | |
| 減価償却費 | 106 | 27 | 134 | — | 134 |

(注) 1. セグメント利益の調整額△188百万円のうち、△188百万円は各報告セグメントに配分していない全社費用であり、0百万円はセグメント間取引消去であります。全社費用は報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

3. セグメント資産の調整額△323百万円はセグメント間取引消去であります。

当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | 調整額 (注) 1 | 連結財務諸表計上額 (注) 2 |
|-------------------|---------|---------|---------|-----------|-----------------|
| | 水産物販売事業 | 冷蔵倉庫等事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 114,055 | 184 | 114,239 | — | 114,239 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | — | 54 | 54 | △54 | — |
| 計 | 114,055 | 238 | 114,293 | △54 | 114,239 |
| セグメント利益 | 86 | 3 | 89 | △170 | △81 |
| セグメント資産 | 20,175 | 302 | 20,477 | △312 | 20,165 |
| その他の項目 | | | | | |
| 減価償却費 | 96 | 21 | 118 | — | 118 |

- (注) 1. セグメント利益の調整額△170百万円のうち、△169百万円は各報告セグメントに配分していない全社費用であり、△1百万円はセグメント間取引消去であります。全社費用は報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
2. セグメント利益は連結財務諸表の営業損失と調整を行っております。
3. セグメント資産の調整額△312百万円はセグメント間取引消去であります。

【関連情報】

1. 製品及びサービスごとの情報

前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日) 及び当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

セグメント情報の中で同様の情報が開示されているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日) 及び当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日) 及び当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日) 及び当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%を超える相手先がないため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度（自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）

（単位：百万円）

| | 水産物販売事業 | 冷蔵倉庫等事業 | 全社・消去 | 合計 |
|------|---------|---------|-------|----|
| 減損損失 | 7 | — | — | 7 |

当連結会計年度（自 2020年4月1日 至 2021年3月31日）

（単位：百万円）

| | 水産物販売事業 | 冷蔵倉庫等事業 | 全社・消去 | 合計 |
|------|---------|---------|-------|----|
| 減損損失 | 7 | — | — | 7 |

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

当連結会計年度（自 2020年4月1日 至 2021年3月31日）

水産物販売事業セグメントにおいて、株式会社別府魚市の株式を取得し、同社を当社の連結子会社としたことにより、のれんを17百万円計上しております。

水産物販売事業セグメントにおける、のれんの償却額は3百万円、未償却残高は14百万円であります。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

| | 前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日) | 当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日) |
|------------|--|--|
| 1株当たり純資産額 | 497円77銭 | 580円12銭 |
| 1株当たり当期純利益 | 12円25銭 | 47円73銭 |

- (注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

| | 前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日) | 当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日) |
|----------------------------------|--|--|
| 親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円) | 168 | 653 |
| 普通株主に帰属しない金額 (百万円) | — | — |
| 普通株式に係る親会社株主に帰属する当期 純利益 (百万円) | 168 | 653 |
| 普通株式の期中平均株式数 (千株) | 13,724 | 13,682 |

3. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

| | 前連結会計年度 (2020年3月31日) | 当連結会計年度 (2021年3月31日) |
|--------------------------------------|-------------------------|-------------------------|
| 純資産の部の合計額 (百万円) | 6,831 | 7,673 |
| 純資産の部の合計額から控除する金額 (百万円) | — | — |
| 普通株式に係る期末の純資産額 (百万円) | 6,831 | 7,673 |
| 1株当たり純資産額の算定に用いられた 期末の普通株式の数 (千株) | 13,724 | 13,227 |

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

(追加情報)

新型コロナウイルス感染症による経済活動への影響は、2022年3月期中においても一定程度残るものと仮定し、この仮定に基づき、繰延税金資産の回収可能性等について会計上の見積りを行っております。